

# 日本語及び諸言語の**COME**と**GO**

**2024年10月3日(木)**

**5限16:20-17:50**

関西大学千里山キャンパス  
岩崎記念館 F402教室

対象：All welcome!  
(特に外国語教育学研究科の院生・教員)

※リモート履修制度による受講生で参加を  
希望される方は外国語教育学研究科オフィス  
までお問合せください。



**松本 曜 先生**  
(国立国語研究所)

## Abstract:

世界の諸言語は、人や事物の移動をどのように表すのだろうか。そこにはどのような相違点や共通点があるのだろうか。この発表では国立国語研究所を中心として行われてきた20の言語の比較研究(ビデオ映像に基づく実験的研究)からわかってきたことについて解説する。主に取り上げるのは日本語、英語、中国語であるが、他にも独仏露語などについても触れる。特に注目するのは直示動詞(行く、来るなど)の用法で、どのような場面でこの動詞が使われるかを考察する。

## Biography:

1960年札幌市出身。スタンフォード大学言語学科博士課程を終了後、神戸大学教授などを経て、2017年10月国立国語研究所に着任。専門は言語学(意味論)。著書に『Complex predicates in Japanese』(くろしお出版、単著)、『日本語語彙的複合動詞の意味と体系』(ひつじ書房、共著)など。